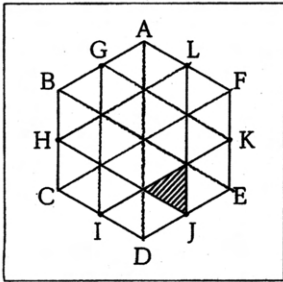
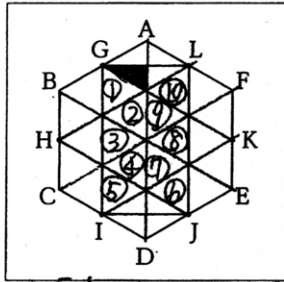


1	(1) 94	(2) 5	(3) 20	(4) 1
	(5) 45	(6) 3	(7) 8	(8) $2\frac{1}{2}$

2	(1) 10 個	(2) 16 枚	(3) 2 日間	(4) 10 %
	(5) 15 人	(6) 12 人	(7) 42 度	(8) 2 cm

3	(1) (式または考え方)  左図のように正六角形の各頂点と各辺の真ん中の点から正六角形の各辺に平行な補助線を引くと、合同な24個の正三角形に分けられるので $120 \div 24 = 5 (\text{cm}^2)$	(2) (式または考え方)  (1)と同様の補助線を引くと左図のようになり、面積5cm^2の正三角形が10個ある。 色をぬった三角形は正三角形の半分の面積2.5cm^2全部で4個ある。 よて長方形GILJの面積は$5 \times 10 + 2.5 \times 4 = 60 (\text{cm}^2)$
	(答) 5 cm^2	(答) 60 cm^2

4	(1) ア 16 イ 32	(2) (式または考え方) 150枚のとき、始めから22枚目に取りカードは $2 \times 22 - 1 = 43$ なので取っていくカードは 1, 3, 5, 7, 9, ..., 43となる。 これを取った後に残るカードは 2, 4, 6, 8, ..., 42, 44, (45) 46, 47, 48, ..., 150の 128枚である。45のカードから 取り始めるので、最後に残るカードは1つの前の 44である。 (答) 44
	枚数の数字が書かれたカードが最後に残るカードとなる。 (取り始めたカードの1つ前が最後に残るカードになる。)	

受験番号	* 評 点

(*印の評点らんには、何も書かないこと)